



広告媒体資料

発行部数 / 10,000 部

発行日 / 毎月 15 日

体裁 / 152 ページ

版型 / B5 判 (257 × 182mm)



眼に見える言葉が書ならば、
手に抱ける言葉が茶碗なのである。— 青山二郎

美しいものだけを長い間かかって残した
人々の智恵を骨董に読むのだよ。— 小林秀雄

そんな古器物が語るささやかな声を拾い、読み解いてわかりやすく読者へ伝える。
それが『目の眼』の使命です。



古美術・骨董品は全て一点ものです



「深く見ること」「広く見ること」がことが大切です。そのためにはできるだけ数多くの一級品を見ること。幅広いジャンルを見通すことが必要です。

書画、陶磁器、茶道具、刀剣、民藝、文房具など多岐にわたる古美術・骨董の世界を、特集というかたちで毎号横断的に紹介しつつ、複眼的に深く掘り下げています。

頭を動かすより、眼を動かせることが大事だと言うのです。— 小林秀雄



<2020年の表紙。毎号さまざまな特集が組されます>

時代を経ても変わらぬ価値をもつ古美術・骨董品の世界は、旧態依然とした変化に乏しい業界と思われがちですが、実際は流行りすたりが激しく、市場価値は常に変動しています。とくに社会が不安定になると、美術品への依存度は増します。

国内外の美術館・研究者・美術商・コレクターの取材を通して、最新の知見と市場動向を紹介。いまもっとも『旬な古美術』をお伝えします。

『目の眼』の読者層は、多彩です

最年少は10代から、最年長は90代まで。職業をみると美術商や美術館関係者が多いのはもちろんですが、医師、経営者、学生などもめだちます。しかし職種や年代で判断しても、実はあまり意味がありません。共通しているのは、美しいものを見ること、識ること、語ることが好きな人。敢えてそれを分類すると、次の3つに大別できます。

- ①買う人、使う人→愛好家、蒐集家
- ②見つけ出す人、商う人→美術商
- ③探求する人、伝え残す人→研究者、美術館関係者

美術、とくに古美術は、この3者が連携してこそ理解が深まります。

そして『目の眼』はこの3者をつなぐ情報をさまざまな視点から発信・提供。目利きへの道案内をします。

掲載記事から新発見が生まれるなど、その情報精度も高く評価されています。

美しさに見とれる、というより、美しさに考えさせられる。—秦秀雄

売り手・買い手・研究者。どの立場の人にも有用な情報提供ができる。

それが『目の眼』が40年以上も読み続けられる理由です



<目の眼に掲載した広告ページ>

広告ページこそ、『目の眼』の信用です

『目の眼』の広告ページは、読者にとってある意味、記事以上に重要なコンテンツです。読者の多くが、何よりもいちばんに広告ページをチェックする。そんな雑誌が他にあるでしょうか？

美は信用であるか。そうである。—小林秀雄

広告ページこそが『目の眼』の信用なのです。

カラー / モノクロ	スペース	料金	サイズ
カラー	1 ページ	～300,000 円	縦 257 × 横 182mm
	1/2 ページ	～150,000 円	縦 106 × 横 152mm
モノクロ	1 ページ	～150,000 円	縦 257 × 横 182mm
	1/2 ページ	～80,000 円	縦 106 × 横 152mm
	横 1/3 ページ	～55,000 円	縦 60 × 横 152mm

※掲載ページによって広告料金は異なります

<広告スケジュール>

広告申込み締切り…発売日の 35 日前

広告入稿締切り…発売日の 25 日前（※弊社で制作の場合は制作期間 1 週間程度必要です）

※美術雑誌という特性上、必ず色校正を 1 回お出しします。

■完全データ入稿の場合

- ・使用ソフト Adobe Illustrator CC 、Adobe InDesign CC 、Adobe Photoshop CC
 - ・1 ページの場合は上記サイズでトンボを付けて、必ず外トンボまで塗り足しをお願いします。1/2 以下の場合は枠を付けて下さい
 - ・文字はアウトライン化して下さい。
 - ・画像は解像度は 350dpi で埋め込み・リンクのどちらでもかまいません。
- ※埋め込みの場合は入稿後の色調整はできません
- ・必ず見本用の PDF を一緒にお送り下さい